

平成

二十四年

五條市議会第四回臨時会会議録(第一号)

平成二十四年十月二十四日(水曜日)

議事日程(第一号)

平成二十四年十月二十四日 午前十時開議

- 第一 会議録署名議員の指名
- 第二 会期決定の件
- 第三 市長の提出議案の説明
- 第四 議第五十八号 平成二十四年度五條市一般会計補正予算(第三号)議定について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員(十四名)

一番 福塚 実

欠席議員（なし）

説明のための出席者

市長
副市長
教育長
市長公室長
総務部長

太丸 堀内 榎内 竹田
好昭 昭伸 成和
紀典 起吉 彦

二番 山吉 堀川 藤池 益山 峯花 土大 田
三番 吉田 川村 富上 田田 林谷 井谷 原
四番 堀川 村富 上田 田田 林谷 井谷 原
五番 山吉 堀川 藤池 益山 峯花 土大 田
六番 吉田 川村 富上 田田 林谷 井谷 原
七番 堀川 村富 上田 田田 林谷 井谷 原
八番 藤池 益山 峯花 土大 田
九番 益山 峯花 土大 田
十番 山 峯花 土大 田
十一番 峯花 土大 田
十二番 花 土大 田
十三番 土大 田
十四番 大 田
十五番 田

山吉 堀川 藤池 益山 峯花 土大 田
田田 林谷 井谷 原
耕雅 浩家 美輝 吉澄 宏昭 康龍 清
司範 美廣 子博 雄政 典嗣 雄孝

事務局職員出席者

事務局長 乾 旬
事務局次長 藤 光
事務局係長 笹 豊
事務局主任 片 美
速記者 柳 美

すこやか市民部長 山 本 邦
あんしん福祉部長 櫻 井 三
産業環境部長 辻 信 彦
都市整備部長 森 敏 弘
消防長 窪 佳 秀
教育部長 町 口 治
水道局長 中 永 充
会計管理者 上 孝 男
西吉野支所長 丸 山 秀
大塔支所長 山 善 勝
財政課長 和 田 剛 久
市長公室次長 新 井 健 明
秘書課長 竹 本 勝 夫
ふるさと創造課長 河 村 康 友

午前十時零分開会

○議長（益田吉博）ただいまから、平成二十四年五條市議会第四回臨時会を開会いたします。

本日、平成二十四年五條市議会第四回臨時会が招集されましたところ、議員各位には何かと御多用のところ御参集を賜り厚くお礼を申し上げます。

議員各位にはどうか議案審議に御精励をいただきますとともに、円滑なる議会運営に格段の御協力をお願い申し上げます、開会の挨拶といたします。

この際、申し上げます。

会議録及び市議会だよりG O J O並びに広報五條に掲載のため、会議の日程中、事務局に写真撮影をさせますので、御了承願います。ただいまの出席議員数は定足数に達しておりますので、会議が成立いたします。

市長から議会招集の御挨拶があります。太田市長。

〔市長 太田好紀登壇〕

○市長（太田好紀）改めまして皆さん、おはようございます。

平成二十四年第四回臨時会の開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日は、臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には御健勝にて御参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、本臨時会には、やまと広域環境衛生事務組合に対する本市の負担金に係る平成二十四年度一般会計補正予算案を提出させていただいております。

議員各位にはよろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます、平素のお礼と開会の挨拶とさせていただきます。

○議長（益田吉博）ただいまから本日の会議を開きます。

初めに、やまと広域環境衛生事務組合の議会の報告があります。十五番田原清孝議員。

〔十五番 田原清孝登壇〕

○十五番（田原清孝）議長から発言の許可をいただきましたので、去る十月四日、木曜日、午後二時三十分から、御所市役所・本館三階会議室

において開催されました、やまと広域環境衛生事務組合議会平成二十四年第二回定例会の報告をいたします。

御案内のとおり、このやまと広域環境衛生事務組合は、御所市・田原本町及び五條市の二市一町が、ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務を共同処理することを目的として設置され、本市においては、七月三十日の第三回臨時会で加入について可決し、先の第三回九月定例会で、やまと広域環境衛生事務組合の議会の議員の選挙を行い、大谷龍雄議員、山田澄雄議員、そして私、田原清孝の三名が選出されたところであります。

やまと広域環境衛生事務組合平成二十四年第二回定例会は、九月二十七日に招集告示が行われましたが、本定例会は、御所・田原本環境衛生事務組合からやまと広域環境衛生事務組合に名称変更後、初めて開会される議会であります。

十月四日の本会議には、二市一町の各議会から選出された議員九名並びに執行機関である管理者及び副管理者等が出席し、五條市参入に伴う関係条例の整理に関する条例の専決処分の報告、一般会計補正予算など六議案について審議が行われました。

会議では、まず、管理者の東川御所市長から議会招集の挨拶があり、議席の指定、会議録署名議員の指名に続き、本定例会の会期を一日とすることが決定されました。

次に、議案審議に入り、まず、五條市参入に伴う関係条例の整理に関する条例の専決処分の報告については、五條市の加入に伴い、地方自治法第二百八十六条第一項の規定による組合規約変更に係る奈良県知事の許可を八月三十一日付けで受けたことから、同日付けで関係条例の一部をそれぞれ改正することを専決処分したことにより、その承認を求めるもので、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり承認されました。

次に、平成二十四年度やまと広域環境衛生事務組合一般会計補正予算（第一号）については、広域処理施設建設に係る地元自治会との協議がおおむね整ったことを受けて、協力金並びに周辺地区環境整備基金積立金の合計二億二千万円を補正するもので、これら財源につきましては、構成市町の田原本町が一億円、五條市が一億二千万円の負担となっており、当局の説明により了承した次第であります。議員から、地元自治会と締結する協定書の考え方について質疑があり、「大きな論点となる操業年限は、おおむね二十年と考えており、環境監視などとともに地元自治会と詳細を協議しているところである。」等の答弁があり、慎重審議を経て採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

次に、やまと広域環境衛生事務組合周辺地区環境整備基金条例の制定については、ごみ処理施設の建設に当たり、周辺地区住民の生活環境

向上と周辺地区の発展と活性化を推進することを目的とした環境整備事業、地域活動事業及び生活環境向上事業に要する資金に充てるための基金を設置するもので、当局の説明により了承した次第であります。議員から、当該基金の総額や環境整備事業の内容等について質疑があり、「構成市町の負担は、平成二十三年のごみ量を基本として、御所市九千三百万円、田原本町一億七百万円、五條市の環境対策費と協力金の合計二億五千万円の総額四億五千万円を積み立てるもので、環境整備基金の対象事業は、周辺地域における環境整備施設の整備事業、環境保全団体等の育成事業、環境保全向上に関する推進事業、健康で住みよい生活環境の向上に資する事業、周辺地域の自治会で決定された事業、その他管理者が必要と認めた事業である。また、二十年という用途の中で出てきたもので、使途などについては、その都度、議会で議論していただくことになる。」等の答弁があり、慎重審議を経て採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

次に、平成二十三年度やまと広域環境衛生事務組合一般会計歳入歳出決算認定については、地方自治法第二百三十三条第三項の規定により監査委員の意見を付けて議会の認定に付されるもので、歳入歳出決算額は、それぞれ三千五百八十二万四千六百二十八円となっており、慎重審議を経て採決の結果、全員一致をもって原案のとおり認定されました。

次に、議員発議による管理者専決処分事項の指定については、地方自治法第八十条の規定に基づき、議会の委任により管理者において専決処分することができる事項について審議が行われ、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決されました。

次に、やまと広域環境衛生事務組合公平委員会委員の選任については、地方公務員法第九条の二第二項の規定に基づき議会の同意を求め、御所市公平委員会委員の泉井久典氏を選任することについて、慎重審議を経て採決の結果、全員一致をもって原案のとおり同意されました。

以上、概要を申し上げまして、やまと広域環境衛生事務組合平成二十四年第二回定例会の報告といたします。

ありがとうございました。

○議長（益田吉博）以上で、やまと広域環境衛生事務組合の議会の報告を終わります。

○議長（益田吉博）本日の日程につきましては、お手元に配布済みのとおりであります。

配布漏れはございませんか。――。

これより日程に入ります。

○議長（益田吉博）日程第一、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は会議規則第八十一条の規定により、議長から指名いたします。

四番 堀 川 浩 美 議員

六番 川 村 家 廣 議員

七番 藤 富 美 恵 子 議員

以上の三名の方をお願いいたします。

○議長（益田吉博）次に日程第二、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期につきましては、去る十月十二日に開催の議会運営委員会におきまして御協議を賜りました結果、先に御通知申し上げましたとおり、本一日間といたしたいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（益田吉博）御異議なしと認めます。よって会期は本一日間と決しました。

なお、会議予定につきましては、各位に御通知申し上げましたとおりであります。

○議長（益田吉博）次に日程第三、市長の提出議案の説明を求めます。太田市長。

〔市長 太田好紀登壇〕

○市長（太田好紀）本臨時会に提出の議案について御説明を申し上げます。

議第五十八号、平成二十四年度五條市一般会計補正予算（第三号）議定につきましては、歳入歳出それぞれ一億二千万円を追加し、総額百七十六億二千三百八十万二千円とするもので、補正の内容といたしましては、やまと広域環境衛生事務組合に対する本市の負担金として、塵芥処理費に一億二千万円を追加するものであります。

以上が、このたび提出いたしました議案の概要であります。議員各位におかれましては慎重審議の上、御議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（益田吉博）市長の提出議案の説明が終わりました。

○議長（益田吉博）次に日程第四、議第五十八号を議題といたします。

事務局長に件名を朗読させます。

○事務局長（乾 旬）議第五十八号、平成二十四年度五條市一般会計補正予算（第三号）議定について。

○議長（益田吉博）提案理由の説明を求めます。竹田総務部長。

〔総務部長 竹田和彦登壇〕

○総務部長（竹田和彦）失礼いたします。

ただいま上程いただきました議第五十八号、平成二十四年度五條市一般会計補正予算（第三号）議定につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

恐れ入りますが、別冊の平成二十四年度五條市一般会計補正予算書（第三号）の一ページより御覧いただきたいと存じます。

このたびの補正予算は、一般会計の歳入歳出にそれぞれ一億二千万円を追加するものでございまして、これに伴う予算総額は、歳入、歳出ともに、百七十六億二千三百八十万二千円となるところでございます。

それでは、歳出の項目につきまして御説明申し上げます。恐れ入りますが四ページを御覧いただきたいと存じます。

まず、補正の額及び目的でございますが、四款衛生費、二項清掃費、二目塵芥処理費、十九節負担金補助及び交付金として、一億二千万円を計上しております。

これは、ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務を共同で処理するため、本市並びに御所市・田原本町が設置いたしました「やまと広域環境衛生事務組合」に対する平成二十四年度負担金でございます。

次に、補正の理由でございますが、去る十月五日付けで同組合管理者御所市長より、本年十一月十五日を納入期限とした当該負担金の請求に係る依頼が五條市長宛てにあったため、本臨時会に提案させていただいた次第でございます。

歳出は、以上でございます。

続きまして、歳入について御説明申し上げます。

恐れ入りますが、三ページの「一総括」、「歳入」を御覧いただきたいと存じます。

歳入予算につきましては、十八款繰越金において一億二千万円を追加いたしまして、歳出との均衡を図った次第でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく御審議の上、御議決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（益田吉博）提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。（「三番」の声あり）三番吉田雅範議員。

○三番（吉田雅範）今、総務部長の方から御説明いただいたのですけれども、塵芥処理費として一億二千万が上がっているわけなんですけれども、その今話を聞いておいたら栗阪地区に十一月十五日までですか、支払をしなければならないということなんですけれども、それならこれは塵芥処理費の中で入れておくべきなのか、それとも協力金という形で入れるのが当然かなと思いますんやけれども、その辺の御説明をお願いします。

○議長（益田吉博）竹田総務部長。

○総務部長（竹田和彦）失礼します。

負担金につきまして、予算書の上では塵芥処理費という目がございます。広域の事務組合への負担金として支出させていただくということ、十九節の負担金補助及び交付金として同目に計上させていただいた経緯でございます。（「三番」の声あり）

○議長（益田吉博）三番吉田雅範議員。

○三番（吉田雅範）それはわかるのですけれども、塵芥処理といったら全般的なごみの処理という話になるわけなので、できたらもう少し詳しく負担金として協力金で一億二千万というふうな計上をしていただけたら、わかりやすいかなと思うのですけれども。

○議長（益田吉博）竹田総務部長。

○総務部長（竹田和彦）失礼します。

科目といたしまして、負担金補助及び交付金という定められた節が予算上設けられておりますので、そこにおきまして計上させていただいたことでありまして、名称といたしましては、やはり協議会の負担金となるかと存じております。（「四番」の声あり）

○議長（益田吉博）四番堀川浩美議員。

○四番（堀川浩美）先ほどからいろいろと説明いただきましたが、やまと広域環境衛生事務組合の、まだごみを燃やしていないのに塵芥処理施設というのはどうもおかしい。御所市への一億二千万円は持参金でございますか。

○議長（益田吉博）竹田総務部長。

○総務部長（竹田和彦）失礼します。

予算の措置上、それぞれの細目がございますが、規定されている款、項、目、節という定義に従いますと、十九節の負担金補助というところに該当いたしますので、予算書計上の上ではこの節を使わせていただいております。

以上でございます。

○議長（益田吉博）よろしいか。ほかにございませんか。

質疑を終わります。

お諮りいたします。本案につきましては委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（益田吉博）御異議なしと認めます。よって本案は委員会付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、初めに藤富美恵子議員の発言を許します。（「七番」の声あり）七番藤富美恵子議員。

○七番（藤富美恵子）議長から発言の許可をいただきましたので、ただいま議題となっております議第五十八号、平成二十四年度五條市一般会計補正予算（第三号）議定について、反対の立場から討論いたします。

今回の補正予算、塵芥処理費一億二千万円は、御所市に建設される新ごみ処理施設に係るやまと広域環境衛生事務組合の五條市の負担金で、いわゆる地元対策費としての協力金、及び環境整備基金の一億二千万円であります。

まず以前、五條市が御所・田原本環境衛生事務組合へ加入するに当たり、御所市と田原本町との間で御所市・田原本町・五條市の負担割合

(案) が決められました。

一、協力金として一億円(栗阪地区)、二、環境対策費として四億五千万円(栗阪・小殿・朝町各地区、その他)、合計五億五千万円であります。

五億五千万円のうち、御所市の負担金は九千三百万円、率にして約一七パーセント、田原本町の負担金は二億七百万円、率にして約三八パーセント、五條市の負担金は二億五千万円、率にして約四五パーセントで、御所市・田原本町と比べ高い負担割合となっております。

そして、五條市の負担金二億五千万円の内訳は、協力金、及び環境整備基金として一億二千万円、環境対策費として一億三千万円の合計二億五千万円であります。

これは、五條市にとっては大変不利であります。

以前、太田市長は、二市一町で御所市にごみ処理施設を建設することは、五條市にとってメリットになると言っておられました。このことだけをとってみますと、五條市の負担金は二億五千万円で、五億五千万円の実に約四五パーセントという高い負担割合になり、五條市の不利益になっても、五條市のメリットにはなりません。

今回計上された五條市の負担金は、以前、御所市と田原本町との間で決められた負担割合(案)そのままであり、五條市にとっては不利益になることから、私は、平成二十四年度五條市一般会計補正予算、塵芥処理費一億二千万円については認めることはできません。

以上のことから、本案、議第五十八号、平成二十四年度五條市一般会計補正予算(第三号)議定については反対すべきであると申し上げまして、私の反対討論といたします。

議員各位には、何とぞ御賛同賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長(益田吉博)次に大谷龍雄議員の発言を許します。(「十四番」の声あり)十四番大谷龍雄議員。

○十四番(大谷龍雄)それでは議長から発言の許可をいただきましたので、議第五十八号、平成二十四年度五條市一般会計補正予算(第三号)に対する賛成討論をさせていただきます。

先ほどの田原議員さんの報告にもございましたように、今回上程されておりますこの補正予算は、十月四日に開かれました平成二十四年やまと広域環境衛生事務組合議会で可決されました議第八号、平成二十四年度やまと広域環境衛生事務組合一般会計補正予算(第一号)と関連しております。

したがいまして、まず私の方からこのやまと広域議会でも可決されました議第八号の予算の内容を報告させていただきます。

歳入におきましては、五條市が一億二千万円、田原本町が一億円という予算案であったわけであります。この金額の五條市が一億二千万円で、田原本町が一億というこの差はどこからこういふふうになるのかといえますと、一般的に協力費と言われておりますけれども、基礎計算は平成二十三年のごみ量を基本として計算した場合、こういう金額になるわけですね。例えば平成二十三年のごみ量は、五條市は約一二〇七五トン、田原本は九、九八五トンということになりました。ごみの量が五條市の方が多いためです。だからこのトン数で一トン当たり一万円として計算しますと、大体皆さん、五條市は一二、〇七五トンですから、一億二千万円、田原本は九、九八五トンですけれども、ほぼ一万トンですから一億円というふうになるわけであります。

この負担金を、そしたらどういふところに使うのかという歳出面の予算では、田原本・五條の合計二億二千万円のうち、一億円は栗阪自治会への補償金として上がっております。あと残った一億二千万円は、周辺地区環境整備基金積立金とするという予算が上がったわけです。

したがいまして、この議案書提出に当たりましたの、管理者の説明はどうだったかと、また議員の質問に対する管理者の答弁はどうであったのかということも、その点も重要でありますので、報告しておきますと、この議案の説明に当たりましたの管理者の議案説明の中では、こういうふうの説明しております。「地元自治会と進めてまいりました広域処理施設建設に係る協議が事務組合との間でおおむね整いましたので、協賛金並びに周辺地区環境整備基金積立金として二億二千万円を補正するものであります。」ということなんです。

そして議員の質問に対する答弁として、どういふ答弁をしているかと言いますと、「地元栗阪地区との協定書の中での操業期間につきましては、おおむね二十年として協議させていただいております。」と、まだ結論は出ていないわけです。もう一つ議員の質問に対する答弁としては、「地元自治会との詳細を話し合っているところがございますが、今のところ前向きな動きになっております。環境監視などの内容も協定書には出てくるのではないかと考えております。」というふうな管理者は答弁されました。

したがいまして、参加議員全員が賛成の下、この議案は可決されたわけでございます。この可決された五條市の一億二千万円は、これからごみ処理場建設に当たっては大変必要な予算負担金ではないかというふうに思います。

今、報告しましたように、地元栗阪地区の皆さん方との協議が前向きに進んでいただいておりますという状況の下での予算の可決ということでございますから、計画どおり進めていただければ、私は五條市のみどり園の協力地区の皆さん方にお願ひしなければならぬ五年延長の同意もいただくなれば、私は五條市民の皆さん方のごみ処理を中断せずに続けていけるといふ、この法律上の五條市の責任を果たせる見通しがつ

くのではないかというふうに感じているところがございます。

したがいまして、どうか五條市のごみ処理に関する責任を果たすためにも、多くの議員の皆さん方のこの議案に対する賛同を心から訴えまして、私の賛成討論とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

○議長（益田吉博）以上で討論を終結いたします。

これより本案を採決いたします。

なおこの採決は起立により行います。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（益田吉博）起立多数であります。

よって本案は原案のとおり可決されました。

○議長（益田吉博）以上で本日の日程は終了いたしました。

閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には、終始熱心に御精励いただき、円滑なる議会運営に御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

市長始め理事者各位には市政発展のため、事務事業の執行にますます御精励賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、閉会の御挨拶といたします。

ありがとうございました。

市長から御挨拶があります。太田市長。

〔市長 太田好紀登壇〕

○市長（太田好紀）平成二十四年第四回臨時会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位には公私ともお忙しい中、慎重審議を賜りありがとうございました。

本臨時会に提出いたしました議案につきましては、原案どおり御議決をいただきましたことに心からお礼を申し上げます。

議員各位には、どうぞ健康に十分御留意いただき、更に御活躍賜りますことをお祈り申し上げ、閉会に当たりますでのお礼の御挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

○議長（益田吉博） これをもちまして、平成二十四年五條市議会第四回臨時会を閉会いたします。

午前十時三十九分閉会

本会議録の正当なることを証明するためにここに署名する。

議会議長 益田吉博

署名議員 堀川浩美

署名議員 川村家廣

署名議員 藤富美恵子